

一般社団法人 Smile スミレ会  
統括管理者 中尾 さん

## 「できない」ではなく 「どうやったらできるのか」を考える

### つながるを育む仕組み



放課後等デイサービスでは、医療的ケアが必要なお子さんの受け入れを積極的に行っています。支援に不安や戸惑いがあるときは、関係機関と連携しながらスタッフの間で何度も話し合い、「できない」と決めつけるのではなく、「どうやったらできるか」を一緒に考える姿勢を大切にしてきました。

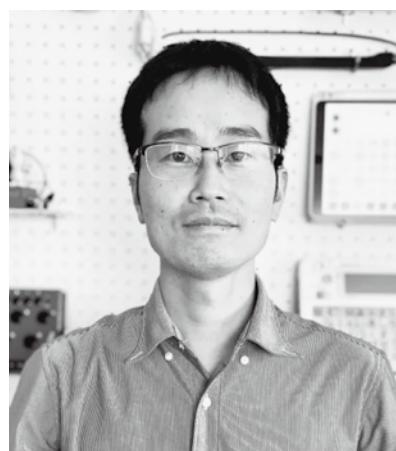
少しの工夫や準備の積み重ねで、できることは広がり、子どもたちの笑顔や成長を感じられる場面が増えています。現場での経験を通して支援側も成長し、地域の理解も少しずつ深まってきた。保護者の方々から「スミレ会さんがあつてよかった」「一緒に考えてくれるのが心強い」といった声をいただき、その言葉が次の一步への大きな力になっています。また、研修や学び合いの中で、職員一人一人が自信を持ち、前向きに取り組める温かな雰囲気が生まれています。令和5年（2023年）11月からは、こども食堂も始めました。「みんなでわいわい食べたらおいしいね」がコンセプトです。

これからも、子どもたちと家族が安心して笑顔いっぱいで過ごせるよう、日常の中ができる支えを丁寧に続けていきます。

株式会社アシテック・オコ  
代表 小林 大作さん（作業療法士）

## 「やりたいこと」を発掘し 「できる」を叶える

### 小さな一歩が大きな未来につながる



医療機器やテクノロジーの進歩により、医療的ケアが必要な子どもや大人の暮らしは、少しずつ変わっています。以前は「療養中心の生活」が当たり前でしたが、今では「やりたいことに取り組みながら暮らす」こともできるようになりました。

そのためには、自分に合った道具や方法と出会うことが大切です。しかし「どんな方法があるのか分からぬ」「支援の経験が少なくて提案しづらい」などの理由で、本当はできるかもしれないのに諦めてしまう方がいます。

2ページでご紹介している写真の中にもあるように、工夫を重ねながら活動に取り組む姿を見ていただければ「これならできそう」「次はこんなことに挑戦してみたい」と、少しずつ可能性が広がっていくことを感じられると思います。

「アシテック・オコ」は、ご本人やご家族の「やりたい」を大切にし、支援者と一緒にその思いをかたちにしながら、さまざまな活動で暮らしが彩られる地域づくりのお手伝いをしていきたいと考えています。